



米

に、あつまる
虫のついで

～虫と光のついでにせまる～

県大交流センター 5/24(火)～6/5(日)
多賀町立博物館 6/7(火)～6/19(日)



髪友

めづらし
めづらし

春

この時代も髪型は生活を写す。
県大交流センター 5月24日(火)~6月5日(日)

覗いてみよう、髪から暮らした。

多賀町町立博物館 6月7日(火)~6月19日(日)

かみ【髪】頭の毛。一本一本の毛よりも、頭に生えている全体を言う。「髪を刈る」「お下げ」「日本髪」「上・ぐさ」
①髪を結う。「今より今後、男女悉くに髪を結ぶよ/紀大武下訓」②女子が成人したしるしに、それまでのおさげ髪を改めて上に結い上げる。「女は襟裳、お下げ、男につき、宮仕へし/宇津保藤原君」
③陪膳の時などに、女官がすべからしを結い上げる。「御膳の折りになりて、みぐしあげまゐりて、臈人ども、御まかなひのお下げてまゐらするほどは枕一〇四」かみがた【髪形・髪型】結ったり、切り揃えたりして仕上げた髪のご好。髪のかたち。ヘアスタイル。ゆ・う【結う】髪を毛を、紐で結んだりしてある形に整える。東京語では、音便系に「いって」「いった」の形も用いられる。「日本髪を結う」「髪をおさげに結った女の子」
き・る【切る・斬る・伐る・截る】①力を加えて一続きのものを分離させる。刃物などで断ち分ける。す・く【梳く】もつれた毛や糸を櫛でとかして方向を整える。くしけずる。「髪をくく」とかす【解かす・梳かす】「とかす(溶)」と同源もつれていた毛に櫛を入れて整える。とく。「髪をくす」「頭をくす」くし【櫛】髪をすいたり、髪飾りにしたりする道具。横楊・竹・象牙・髹甲・合成樹脂などで作る。「髪に櫛の毛を入れる」かみきり【髪切り】①髪を切ること。また、髪を切る道具。②髪を切り下げにすること。後家の髪形。また、そのようにした人。③遊女が客に真心を示すために大切な髪を切ること。「指切・でわかったと思ふは昔のことよ/酒・傾城買」
びよう【美容】顔や体つきを美しくすること。「美容によい体操」-いん【美容院】パーマ・結髪。化粧その他の美容術を施し、主に女性の容貌を美しく整えることを生業にする施設。美粧院。ビューティーパーラー。ビューティーサロン
ヘア【hair】毛。髪の毛。ヘアスタイルヘア